

# 医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	細径内視鏡における早期胃癌の拾い上げとピットフォールの検討
研究責任者	聖隷浜松病院 消化器内科 海野 修平
研究実施体制	聖隷浜松病院 消化器内科 三宅 彩, 榛葉 俊太郎, 井田 雄也, 大城 恵吾, 平野 雄一, 吉井 元, 小林 郁美, 志田 麻子, 江上 貴俊, 山田 洋介, 小林 陽介, 木全 政晴, 芳澤 社, 室久 剛, 長澤 正通, 細田 佳佐
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2022年 12月
対象者	2020年9月~2021年9月に聖隷健康診断センターにて細径内視鏡検査を受け、指摘された良性を含む胃病変患者のうち、聖隷浜松病院での精査内視鏡で胃腫瘍と確定診断し内視鏡治療を行った患者
研究の意義・目的	日本における胃癌の年齢調整死亡率および罹患率は低下傾向にあるものの、未だに罹患数は多い状況です。スクリーニング内視鏡検査で発見された早期胃癌を治療すれば胃癌の死亡数が減少することがわかっており、スクリーニング内視鏡検査が非常に重要とされます。近年の開発により細径内視鏡でも非常に質の高い内視鏡診断が可能となっています。早期胃癌の内視鏡診断ガイドライン上、細径内視鏡と通常の経口内視鏡のどちらがスクリーニングに適しているかについての言及はありません。本研究で我々は聖隷健康診断センターの細径内視鏡で発見された胃腫瘍の臨床病理学的特徴および当院精査時内視鏡で新たに発見できた胃腫瘍を評価し、拾い上げのポイントや注意すべき点を明らかにすることを目的とします。
研究の方法	対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行う。 症例の年齢、性別、病変部位、内視鏡診断の肉眼型、色調、ESD検体の病変サイズ、断端評価、組織型、病理診断深達度、脈管侵襲に関して。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 消化器内科 (氏名) 海野 修平 TEL:053-474-2222(代表) 消化器内科外来 9:00~17:00 平日